

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電 話	責任者 (役職名)
2024年 3月4日(月)	デジタルトランスフォー メーション推進部 DX・行財政改革推進課	0796-21-9146 (内線 2041)	若森洋崇 (課長)

(件 名)

日本郵便による新型ドローンでの配送の実施

(内 容)

日本郵便株式会社が新型ドローンによる荷物などの配送を試行しますので、お知らせします。

記

- 1 運行日**
3月4日(月)～3月22日(金)
- 2 運航区間**
出石郵便局(出石町町分117)配達区内
※詳細は別紙のとおりです。
- 3 主催**
日本郵便 株式会社
- 4 実施協力**
株式会社 ACSL、兵庫県、豊岡市
- 5 本事業に関する問合せ**
本件に関する問合せは、日本郵便株式会社広報部へお願いします。
日本郵便株式会社広報部報道担当
電話：03-3477-0546
- 6 その他**
 - (1) 詳細は、別紙を確認してください。
 - (2) 取材は、別紙を確認し申し込んでください。

《問合せ》 デジタルトランスフォーメーション推進部
DX・行財政改革推進課(担当：伊崎・若森)
TEL：0796-21-9146(直通)



報道関係者各位

2024年3月4日
日本郵便株式会社

新型ドローンのデビュー！ ～物流専用機(ドローン)による配送の実施～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下「日本郵便」）は、ドローンによる、荷物などの配送を試行しておりますのでお知らせします。

本試行は、新たに開発した物流専用の新型ドローン（JP2）を用い、郵便局から配送先地区にお住まいの受取人さま宅の近隣施設まで、補助者なし目視外飛行（レベル3.5）により実施するものです。

既存の機体よりもペイロード（搭載可能な荷物の重量）が増加した機体を活用することで、中山間地域でのドローン配送の実用化がより進むものと考えています。

日本郵便では、今後も新しい技術と物流の融合を図る取り組みを進めてまいります。

■概要

- ・運行日：2024年3月4日（月）～同年3月22日（金）
- ・運行区間：出石郵便局（兵庫県豊岡市出石町町分117）配達区内
いずし
詳細は別紙のとおり
- ・主催：日本郵便
- ・実施協力：下表のとおり

協力団体名	概要
株式会社ACSL	物流専用機「JP2」の提供および運航の支援
兵庫県・豊岡市	地域、関係団体などとの調整支援

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

日本郵便株式会社
広報部 報道担当
電話：03-3477-0546

【お客さまのお問い合わせ先】

お客様サービス相談センター
<電話番号>
0120-23-28-86（フリーダイヤル）
携帯電話からご利用のお客さま
0570-046-666
（通話料はお客様負担です。）
<ご案内時間>
全日：8:00～21:00
ガイダンスが流れますので、「*」のあとに「1」
を選択してください。
おかけ間違いのないようご注意ください。

1. 目的

- 兵庫県豊岡市の協力のもと、これまでの実証結果を踏まえたドローンによる配送実用化に向け、以下、①または②の候補地での配送試行を実施中。

2. 実施場所① (唐川区)

- 実証場所：兵庫県豊岡市但東町唐川区 (出石郵便局配達区内)
- 実証期間：2024年3月4日(月) ~ 3月22日(金)

【配送経路】

※国土地理院地図をもとに日本郵便作成



使用機体

ACSL社 JP2



3. 実施場所② (奥矢根区)

- 実証場所：兵庫県豊岡市但東町奥矢根区 (出石郵便局配達区内)
- 実証期間：2024年3月4日(月) ~ 3月22日(金)

【配送経路】

※国土地理院地図をもとに日本郵便作成



【配送手順】※唐川・奥矢根共通

- ① 郵便局敷地内で配送物をドローンに搭載
- ② 郵便局敷地内の遠隔監視・操作拠点から離陸を指示
- ③ あらかじめ設定した経路に沿って配送先エリアに向け自動飛行
- ④ 着陸地点に自動着陸 = 配達 (配達後、郵便局に帰還)

- 出石郵便局から唐川公民館または奥矢根コミュニティセンターまで自動操縦により飛行。
- 実証エリア内のコミュニティセンターや公民館を着陸地点 = 配送先に設定。
- 12月実施の奥矢根地区での試行で得たノウハウを踏まえ、公民館等を活用した配送モデルを試行。

4. 使用機体詳細

- ACSL社製のドローン「JP2」を使用します。

動力 : 電動 (バッテリー)

最高速度 : 10m/s (36km/h)

最大離陸重量 : 24.9 kg

最大積載量 : 4.5 kg

運航方式 : 自動航行

耐候性能 : 風速10m/s

- ・地上局PC画面で常時遠隔監視
- ・緊急時等には遠隔から操作介入可能

【外寸】※プロペラ含む
長さ : 2,272 mm
幅 : 2,500 mm
高さ : 721 mm



※物流専用機のスペックは現時点での想定であり、実用化の際には変更となる可能性があります

5. レベル3.5飛行の概要

- レベル3.5飛行では従来のレベル3で必要とされる立入管理措置(補助者・看板の配置)がデジタル技術の活用により撤廃となり、道路や鉄道等の上空を横断が条件付きで可能となった。
- 条件は以下の3つ
 - ①二等無人航空機操縦士以上(目視内飛行の限定変更を受けたもの)の国家資格の保有
 - ②保険への加入
 - ③機上カメラによる歩行者等の有無の確認

	レベル3	レベル3.5(新設)	レベル4
飛行可能ケース	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	有人地帯における補助者無し目視外飛行が可能
線路や道路等の横断	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が必要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要

新・旧機体スペック比較表

二次利用禁止

新たな物流専用機は物流オペレーションを考慮した荷物の搭載等の簡便性や、社会受容性を意識したデザインを重視しつつ、「レベル4」のための型式・機体認証取得を想定した設計・仕様。



【物流専用機「JP2」】(CGイメージ)



【現行使用機「PF2」】(19年度から使用)

項目	物流専用機	現行使用機(PF2)
製造者	株式会社ACSL	同左
機体サイズ	2,272 mm × 2,500 mm × 721 mm	1,173 mm × 1,067 mm × 654 mm
最大離陸重量	24.9 kg	9.8 kg
ペイロード	4.5 kg (100サイズ程度)	1.7 kg (80サイズ程度)
最大飛行距離	約 35 km	10 km
配送物の収納・切離し	機体上部から収納、下部から切離し	機体下部から取付け、切離し